

ウエイトリフティングで日韓交流 和寒町出身者2名が活躍

平成29年11月11日～12日に士別市で開催された2017日本・韓国国際友好ウエイトリフティング競技大会に、和寒町出身2選手が出場し、会場にはご家族や町内の方々が応援に駆けつけ、大きな声援を送っていました。

福本選手は現在、法政大学で競技を続けており、今年7月に開催された平成29年度第45回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会、9月に開催された平成29年度第41回東日本学生個人ウエイトリフティング選手権大会とともに総合優勝するなど活躍されています。

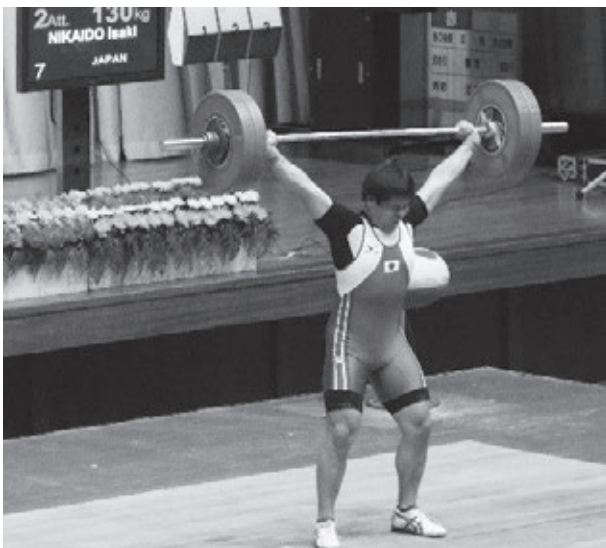
試合後、福本選手は「少し調子が不安定だったが、会場入りしてからは安定していた。クリーン&ジャークでは自己新の176kgをマークできたので、結果としてはまずまず」と話していました。



福本龍馬選手（和寒中－士別翔雲高－法政大学2年）

二階堂選手は2歳ころまで和寒町で育ち、現在は日本体育大学で競技を続けており、今年5月に開催された第77回全日本ウエイトリフティング選手権大会で5位、7月に開催された平成29年度第45回東日本大学対抗ウエイトリフティング選手権大会で3位と好成績を収めています。

観戦に訪れた祖父母の二階堂辰雄さん、アサ江さん（西町）は、「大学生になってからはあまり応援に行けないが、士別市で大会があるときは毎回楽しみに見に行っている」「今回は韓国の選手と競い合ったことで、次に向けて良い刺激になったと思う」と、孫が活躍する姿を嬉しそうに応援していました。



二階堂功揮選手（士別翔雲高－日本体育大学3年）

両選手のこれからの活躍を期待しましょう。

(株)近藤組 国土交通大臣感謝状受賞

株式会社近藤組が、10月23日に国土交通大臣感謝状を受賞し、10月27日、奥山町長に受賞報告のため役場を訪れました。

この感謝状は、建設工事施工統計調査票を3年間継続して提出している者が、建設工事受注動態統計調査票を通算3年以上提出した者が対象で、道内では近藤組を含めて2社のみが選ばれました。

近藤社長は、「建設業界では日の当たることが少ない事務員の仕事が評価され、非常に嬉しい」と受賞の喜びを報告されていました。



受賞報告に訪れた近藤社長